

2022年度 救急・災害看護研究センター活動報告

(2022年4月～2023年3月)

運営内容	事業名	対象者	開催月日	内容
教育	原子力施設視察研修	学生・教職員	8月19日	COVID-19感染拡大防止対策の状況により、本学で、日本原子力研究開発機構の協力のもとVR見学体験研修会を開催し、学生10名、教員5名が参加した。
教育・地域貢献	敦賀消防団機能別班(学生団員)活動	学部3・4年生、院生、専攻科	4月1日	[学生消防団の入退団手続き] 卒業のため8名が退団し、新たに3年生8名が敦賀市消防団機能別班として入団した。学生団員は合計15名である。
		学部1・2年生	7月2日	[学生消防団の活動紹介] 本学自治会主催のスポーツ大会で救護の役割を担当した。 1～2年生と学生団員の交流会を行った。
		学生消防団員	4月5日	[その他] 総務省より消防団等地域活動表彰を授与されたことに関連して伝達授与式を本学で行った。併せて、市長表敬訪問し、表彰の報告を行った。
		学部3・4年生	6月10日	[救急・災害に関する普及活動] 3年生と4年生の消防団で交流会および敦賀美方消防組合救急救命士2名による学習会を行った。
			6月22日	中郷小学校の少年消防クラブ(BFC)へCPRとAEDの指導を行った。
			7月23日	敦賀市女性クラブへCPRとAED、消火器の使用方法について指導を行った。
			8月19日	東洋紡敦賀において従業員へCPRとAEDの指導を行った。
			7月17日	オープンキャンパスにおいて、来学した高校生に対しCPRとAEDの指導および学生消防団の紹介を行った。
			11月3日	
			7月2～3日	敦賀市防災訓練において避難者宿泊体験に参加し、避難者として体験学習を行った。
		10月22日	木崎地区避難訓練において避難所づくりに参加し、学生が車椅子乗車体験の企画、防災グッズの使用法についての紹介した。	
		10月29日	昭和町会館において今年行った昭和町防災意識調査報告と意見交換を行った。	
		救急・災害看護学分野選択学生	7月9-10日	[AHA BLS HCP Course] 新型コロナ感染予防対策を厳重に実施し、3年生36名(救急看護学履修)がAHA BLS プロバイダーを取得した。
		救急・災害におけるフォローアップ(教育)	卒業生、施設の医療従事者	7月16日
卒業生、他	7月16日		[救急や災害看護に関する相談や情報交換の場を提供] 卒業生対象「TNU 救急・災害看護研究センター交流会2022」に11名が参加した。	
COVID-19を原因とする災害に関する教育・研修・支援	卒業生、看護職者、教職員		[有志によるCOVID-19基金の応援サポート] 活動を延期した	
			[感染拡大防止、感染症と自然災害に備えるための啓発] HP更新	

運営内容	事業名	対象者	開催月日	内容
	市内医療施設、敦賀市、大学内の災害時の備え整備	学生、市内の医療介護施設看護職員、教員	7月17日	[自然災害や原子力災害、災害活動や避難所での安全等に関して教育の機会の提供]
			11月3日	オープンキャンパスで、災害時の備蓄品、避難用の補助具の紹介や体験コーナーを開催した。
			7月9日	[救急看護や災害看護分野、地域防災に関する講演・研修会] 「熱中症」講演の講師として、地域・在宅ケア研究センター公開講座に協力した。
				[備え] 学生ボランティアマニュアルを見直した。
	講演・研修会	一般市民	7月9日	地域・在宅ケア研究センターとの共催で 熱中症講演を実施した。
	市内医療施設、福井県・敦賀市が主催する防災訓練への協力	学部1・2年生、分野選択学生4年、教職員数名	11月6日	令和4年度原子力総合防災訓練に4年生14名(災害活動実習履修)と教員1名が参加した。
	救護ボランティアへの参加	分野選択学生3・4年、教員等		救護バックの点検・補充を行った。 学生・教職員の救護ボランティアの届けではなかった。
	研究	救急看護や災害看護分野における研究協力	病院・施設等の看護職	(随時受付)
	救急・災害看護のニーズ調査		6月～9月	災害時要配慮者や避難行動要支援者における課題を学生と敦賀市役所の関係者間で意見交換。
			その他	広報
			11月17日・18日	地域共生社会推進全国サミット(敦賀)に、学生消防団の活動紹介ポスターを展示した。
			7月7日 11月3日	オープンキャンパスで、センターの活動を紹介するポスターを掲示した。
	シミュレーション・ラボの運営			[シミュレーターの活用促進と支援] 「フィジカルアセスメントウィーク」として5月と7月に開放した。延174名が利用した。
				[設置機材の整備とメンテナンス] 設置機材の整備とメンテナンスを確認した。 センター内の備品の充実のため必要備品を検討した。
	センター事業に関する評価・点検			[活動報告] 大学HPにセンター活動を掲載した。 2020-2022年度版の報告書を作成した。
				・BLS教育に関する卒業生への調査について検討した。